

2 「総合的な学習の時間」の見直しが必要と思う観点について

「総合的な学習の時間」における学校の全体計画を立てるに当たり、前年度の見直しが必要であると思う観点について質問した。

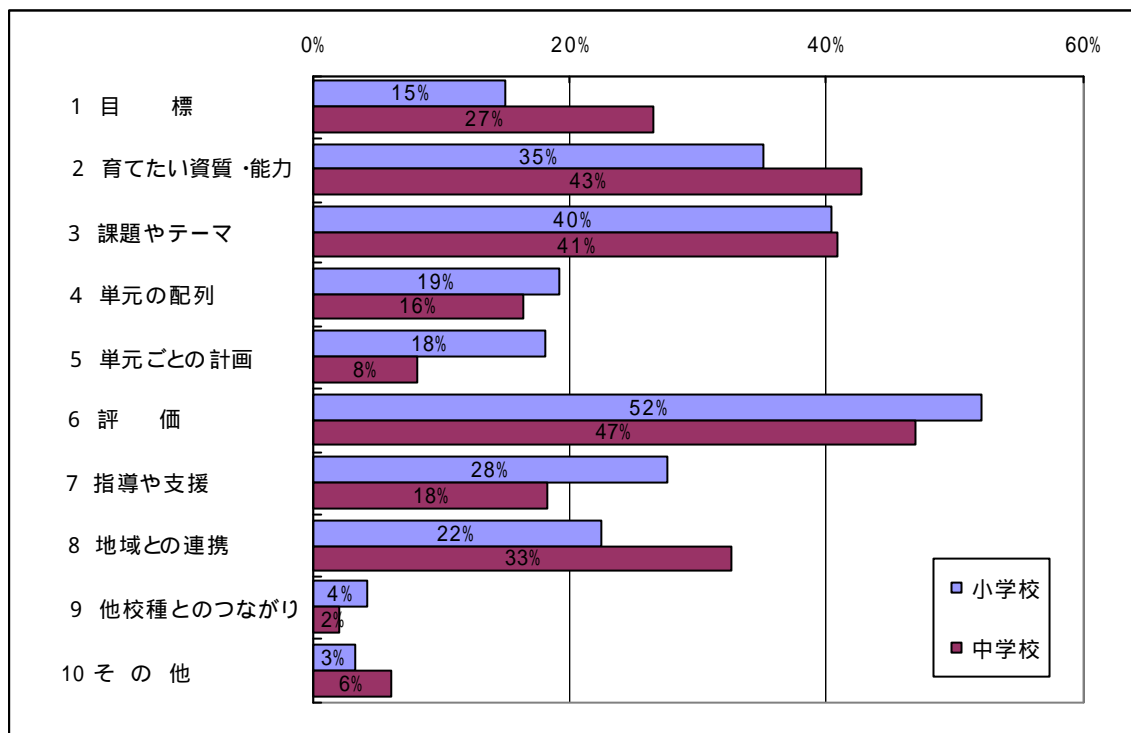


図2 「総合的な学習の時間」の見直しが必要と思う観点（複数回答）

(1) 結果

小・中学校とも「評価」に関する割合が最も高く（小52%、中47%）次いで、「課題やテーマ」に関すること（小40%、中41%）「育てたい資質・能力」に関すること（小35%、中43%）が挙げられている。逆に、「他校種とのつながり」に関することについて見直しが必要であるという回答は、小学校4%、中学校2%とかなり低かった。

(2) 考察

昨年度、初めてこの時間の総括評価として、通知票や指導要録の記入が行われた。そのため「評価」についての関心が高かったものと思われる。児童生徒に何が身に付いたのかを見取るためには、この時間でどんな力を育てたいのかを明確にして指導していかなければならない。この時間の目標や育てたい資質・能力に基づいて評価の観点や評価規準を設定し、目標達成のためにどのような学習内容や課題を取り上げるか十分に吟味する必要がある。そのため、「評価」に次いで「育てたい資質・能力」「課題やテーマ」についての見直しが必要であると多くの教師が意識したものと考えられる。